

ようこそ二亀中へ！

新しい先生たちへ突撃取材

生徒会新聞

発行者
第二亀戸中学校
生徒会本部



令和八年度、二亀中には新たに五人の先生が着任された。今回はその中から二人の先生に突撃インタビューを行った。

まずインタビューを受けてくださったのは、数学科の先生の小山あかね先生だ。小山先生が二亀中に来られる前は、足立区立加賀中学校にお勤めだったそう。

まずは小山先生に二亀中生徒の第一印象を聞いてみた。

「きちんと挨拶ができて、礼儀正しい人たちだと思います。授業の最初と最後の挨拶も良い態度で出来ているので今後も続けていってほしいです。」

とのこと。私たち生徒会も、挨拶が溢れる学校を目標にしているの、それが二亀中に来て間もない先生にもすっかり伝わっているようだ。

ここからは、二亀中のことだけでなく、小山先生がなぜこの職についたのか、先生の趣味など、先生自身について聞いていく。



先生になったのだろうか。

「数学はどんな考え方をしても同じ答えにたどり着けるのが面白いと思っています。高校生のころ、質問に根気強く対応していただいた先生方にも感謝しています。」

教師という仕事の醍醐味や良さはどんなところだろうか。

「生徒の皆さんの成長を感じられるのがいいところだと思います。一日として、同じ日がないところが面白いですね。」

授業を通して、二亀中の生徒にどんなことを伝えたいのか。

「数学はトレーニングです。できるまでたくさん練習しよう。それと、簡単に諦めずに粘り強くやり抜く力をつけよう。」

ここから先生の勉強への熱心が伝わってくる。

学生時代は…

小山先生は学生時代、何部に所属していたのだろうか。

「学生時代は陸上部に所属していました。今でもたまにゆつくりランニングしています。」

今は数学の先生になった小山先生だが、学生時代の好きな教科、苦手な教科は何だったのだろうか。「高校では数学が難しく苦勞しま

したが、数学は好きな科目でした。苦手な科目は国語です。」

ここまで小山先生の学生時代について聞いてきたが、ここからは学校以外の生活について聞いていこう。意外な一面が垣間見えるかもしれない。

まずは先生の趣味を聞いてみた。

「無心になって黙々とできることが好きです。川沿いをランニングすることや、編み物をするのが多いです。あとは、スーパージョウや温泉へ行くことが好きです。広いお風呂にゆっくり入ると疲れが取れる感じがします。」と話してくれた。

先生が大切にしている『座右の銘』はどんな言葉なのだろうか。

「『やればできる』です。心の中で思っているだけでは変化を生み出すことはできません。目標を達成するにはとにかくやってみない

今年の生徒会スローガン「雲外蒼天」について

4月17日に行われた第一回専門委員会の最初に、放送で今年の生徒会スローガンを発表しました。今年の生徒会スローガンは、「雲外蒼天」です。このスローガンになった理由をもう一度振りかえってみましょう。

いまの二亀中では、目標はあるけれど、困難を前にすると、「これくらいいいか」「まあいいや」と諦めてしまう人が多いのではないかと、生徒会では考えています。せっかく目標を立てても、自分の力を出し切らずに諦めてしまうのはとてももったいないです。そんな思いを込めて、今年の生徒会スローガンは「雲外蒼天」にしました。この四字熟語の意味は、今の苦難も努力して乗り越えれば必ず晴れやかな未来が開ける、という意味です。勉強においては、難しい問題や分からない問題でも、あきらめずに取り組んだりすることで、必ず自分の力になります。

部活動においては、きつい練習でも、あきらめずに最後まで頑張ること、大会でいい結果を残すことができるようになるはずです。このように、学校の様々な場面で、自分で目標を立て、苦しいことでも努力し、乗り越えることで晴れやかな未来を作ることができます。この「雲外蒼天」というスローガンをもとに、各委員会でも高い目標を立てて、苦難にもあきらめず挑戦し、みんなで活気ある学校をつくって行きましょう。

といけないと思ってます。」最後に二亀中生に一言いただきたい。

「充実した学校生活を作るのは自分自身の行動です。自分に何ができるか考え、行動し、皆ですてきな二亀中を作っていきましょう！」

続いてインタビューを受けてくださったのは体育科の梁川大輝先生だ。二亀中に来られる前は江東区立有明中学校にお勤めで、近く



には有明ガーデンや有明アリーナ、有明テニスの森などのスポーツ施設が多い地域だったそう。

まず二亀中の印象を聞いてみる

「亀戸水神社の近くであることに驚きました。面接の際には亀戸水神社でお参りをしました。あとは、夫婦の近所でもあるので『あー！弟の家の近くだ！』とも思いました。勤務してみても感じたのは着任式のときの人数の少なさに驚きま

した。体育館で二、三年生が集まっているのを見て『あれ？学年集会かな？』って思っちゃいました。」と笑いながら話してくれた。

次に、二亀中の他の学校とは違うところを聞いてみた。

「生徒の皆さんが素直なところが良いところだと思います。『素直さ』は大人になっても大切な『力』なのでこれからも磨いていってほしい。あと、運動会への取り組みが立派でした。三年生が見本となる動きや係活動をしてくれて『力があるなあ』と感じました。一、二年生も実行委員会を中心に全員がよく頑張りました！」

梁川先生は授業で「仲間の大切さ」「日常生活の大切さ」「体育の楽しさ」を教えたいそう、詳しいことは体育の授業でお話してくれるようだ。

教師になつて

続いてはなぜ教師になったのか、教師のやりがいを聞いてみた。

「中学二年生の三者面談で将来の夢を聞かれました。そのときは何も決めていなかったのですが『なんでもいいから一つ』と言われて答えたのが『体育教師』でした。そこから体育教師を目指しました。

その担任の先生とは今でも連絡を取っています。」

「やりがいは、つい最近感じたことですが前任校で受け持っていた二年生のクラスの生徒達が合唱コンクールの課題曲である『旅立ちの日に』と、自由曲の『明日へ』をサブリイズで歌ってくれたり、色紙を用意して渡して二亀中へ送り出してくれたことです。今でも忘れられません。」と、有明中学校での思い出を語ってくれた。

梁川先生のプライベートのことも聞いてみた。

「ミスチルが大好きで、ファンクラブにも入っています。十一月のライブにも当選しました！あと年齢が同じというのもあって長澤まさみさんも好きです。テレビに出ているのを見るたびに『可愛いなあ』と思います。」

そんな梁川先生が大切にしている座右の銘は。

「『凡事徹底』です。『当たり前のことを当たり前にやる』という意味です。社会で通用する人になるには必要なマインドだと思います。」

最後に二亀中生に一言いただきたい。

「『縁があつて二亀中に赴任することになりました。みんなと出会えてうれしく思います。これからたくさん話して、一緒に授業して、行事で成長して、それ以上に日常生活を大切にしながらみんなと楽しい時間を共有できればと思います！』

今回は今年度二亀中に着任された、小山先生と梁川先生にインタビューを行った。この新聞に載せられていない内容もまだまだたくさんあるので生徒の皆さんから質問してみてもいいだろう。

[illegible]